

港区立東町小学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	・区学力調査の観点別正答率で3年と5年は全観点において全国平均を上回っている。6年は全国平均と比べ、「言語についての知識・理解・技能」が4.1ポイント、「話す・聞く能力」が3.9ポイント、「関心・意欲・態度」が2.9ポイント、「書く」が1.7ポイント下回っている。4年は、「読む」で全国平均を3.1ポイント上回った。しかし、他の観点はすべて1ポイントに満たないものの、全国平均を下回っていた。「書く」は、区平均より8.8ポイント下回っている。 全体的にみると、特に「言語についての知識・理解・技能」を高め、「書く能力」を伸ばしていく必要がある。
社会	・区学力調査の観点別調査では、区の平均と比べて6年の「関心・意欲・態度」が4.9ポイント、「思考・判断・表現」が3.7ポイント、「技能」が2.2ポイント、「知識・理解」が3.8ポイント、4年の「関心・意欲・態度」が8.0ポイント、「思考・判断・表現」が8.1ポイント、「技能」が9.3ポイント、「知識・理解」が7.6ポイント下回っている。同じく領域別調査では、6年の「国土の自然などの様子」が4.3ポイント、「農業や水産業」が2.1ポイント、「工業生産」が3.2ポイント、「情報産業や情報化社会」が5.6ポイント、4年の「地域や市の様子」が7.3ポイント、「生産や販売」が9.6ポイント、「先人の働き」が9ポイント下回っている。 全体的にみると、特に「関心・意欲・態度」、「技能」を育んでいく必要がある。
算数	・区学力調査の観点別調査では、3年の「知識・理解」が、全国平均より2.9ポイント下回っている以外は、どの学年のどの項目も都平均と同レベル以上だった。領域別調査では、3、4年の「量と測定」、4年の「図形」が都平均より2～4ポイント下回っていた。各学年、ポイントが下回っている項目にばらつきがあるため、確かな学力にするために、基礎となる部分を伸ばしていく必要がある。
理科	・区学力調査の観点別調査では、「自然事象についての知識・理解」の観点において、区の平均正答率と比べると、4年が6.5ポイント、5年が7.1ポイント、6年が5.3ポイント下回っている。領域別正答率で比較しても、「物質・エネルギー」「生命・地球」共に、全学年で区平均正答率を下回っている。また、「自然事象への関心・意欲・態度」の観点において、区の平均正答率と比べると、4年が5ポイント、5年が8.5ポイント、6年が5.9ポイント下回っていることから、まずは児童一人一人の学習に対する関心・意欲・態度を高めていく必要がある。

2 各教科の具体的な授業改善

国語	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	表現するために必要な語句を身に付け、身に付けた語句を使って適切に文章表現をする資質・能力	学習や生活の中で出てきた意味や用法の分からない言葉は、辞書で確かめさせたり解説をしたりして、きちんとその意味を理解できるようにする。 文を書いて表現する場を意図的に設ける。表現する際に使える言葉を例示し、表現したい内容にふさわしい語句を選択できるようにする。
社会	社会的事象から問題を見出し、主体的に学習の問題を解決しようとする資質・能力	各単元の導入で児童の身の回りの事象を挙げるなどして、興味関心をもてる動機付けや方向付けをする。
	社会的事象について調べまとめる資質・能力	いくつかの資料を提示し、その資料の中から必要な情報を抽出し、気付いたことや疑問に思ったことを書き出し、自分の言葉でまとめられるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	立式の根拠について筋道を立て考え、説明する資質・能力	問題場面と図や表、式を関連付けて考え、説明する場面を取り入れる。 自力解決する時間を十分に確保する。 ペアや少人数グループで自分の考えを伝え合う時間を多く取り入れる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	自然に親しみ、自然の事物・現象について理解したことを説明する資質・能力	児童にとって身近な課題となるよう、自然事象との出会いの場面を工夫し、生活経験に結び付けて考えることができるようにする。 児童の興味・関心を引き出していけるよう、自分の考えを相手に伝え合う場面を多く設けるとともに、気づきや自分の考えをノートやワークシートに絵や図を活用して表現する活動を設けていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	気づきの質を高め、表現したり、活動を広げたりする資質・能力	自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるように活動を充実し、気づきの質を高める。 自分の思いや願いを表現したり、伝え合ったりする場を多く設定するとともに、具体的に表現するための指導を行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	個人の音楽的技能の向上 他者と合わせて美しい音楽を創り上げる楽しさを味わう態度の育成	歌唱・器楽で、明確な目標を設定し、それを達成するためのスモールステップを与える。 各学年に合った目標を設定し、グループで合唱したり合奏したりする発表の場を設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	表現方法に応じて材料や用具を活用する資質・能力	一つ一つの材料や用具を適切に扱うとともに、全学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、主材料に副材料を組み合わせていたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫することができるようにする。

	鑑賞の活動を通して自分の見方や感じ方を深める資質・能力	親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品我が国の親しみのある美術作品についてグループで話し合い、感想を伝え合うなどして作品の美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりすることができるように指導する。
--	-----------------------------	---

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	生活をよりよくしようと創意工夫する資質・能力	裁縫では、基本的な縫い方の学習は集団で行い、学習したことを使って自分の作品を作る時間を確保し、どのような工夫をするか考えさせる。 調理では、家庭で実践できるように家で作った物を記入するようなワークシートを使用する。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	児童が自ら進んで運動に親しむ資質・能力 基礎体力の向上を図る	児童が自己の課題に応じた練習ができる場を設ける。 児童同士の交流で進んで声をかけている児童や、運動の行い方についてワークシートにまとめている児童を称賛するなど、運動が苦手な児童も活躍できる場を作る。 体育の時間に、体力向上のための補助運動を毎時間取り入れる。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	実践的なコミュニケーション能力 英語に親しむ資質・能力	具体的なアクティビティの場面を設定し、ロールプレイを見せることによって、どんな時にその文法や話型を使うかイメージしやすくする。 英語の歌やチャンツなどの取り組みやすい活動で達成感を味わわせ、次の課題に進んで取り組めるようにする。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	国際社会を力強く生きる児童を目指し、向上心と柔軟性を持ち共生しようとする資質・能力	話し合い活動を充実させ、ワークシートやノートを活用して考えたことや感じたことを書く場面を設け、振り返りをする時間を十分に確保する。 友だちと自分との違いについて気付けるような資料を扱う時間を設ける。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	学校内で所属する様々な集団や自己の生活上の課題を見だし、解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりする資質・能力	活動のねらいを明確に示し、一人一人が課題意識をもてるようにする。 問題の発見・確認→解決方法の話し合い→解決方法の決定→決めたことの実践→振り返りといった学習過程を丁寧に行うことで、活動の質を徐々に高める。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	実社会や実生活の中から問いを見いだし、課題を解決する資質・能力	児童が興味や問題意識をもちやすいような課題を設定したり、目的意識をきちんともって課題を解決したりできるような学習の流れを確立する。 一人一人の学習がきちんと進んでいるか見取ったり、助言をしたりしていく。 外部講師を招いて、深く学習を進めていけるようにする。